

政策形成セミナー（第2回）

主催；リベラル市民政治フォーラム準備室／認定NPOまちぽっと

都市・住宅政策の変遷と課題

日本の都市政策・住宅政策は、1990年代後半からバブル崩壊、低成長経済、超高齢化・少子化・人口減少化を迎えるなかで、公的な介入と再分配による社会福祉的政策を後退させ、市場化を重視した経済政策的な方向へと転換し、経済再生を主眼とした規制緩和を基軸とする都市計画法・建築基準法などの再三にわたる改正、都市住宅整備公団の再編、住宅金融公庫の廃止、公営住宅法の改正などが進められた。

一方で、2000年に施行された介護保険法が目指す「施設から在宅へ」の介護の転換は、高齢者の住まいの問題を政策課題として大きく浮上させることになり、高齢者居住安定法、高齢者専用賃貸整備特別措置法、住宅セーフティネット法などが相次いで制定された。

こうした都市計画制度・住宅制度の変遷は、どのような背景のもとで、なにを目指して行われてきたのか。この間の都市・住宅政策の動きについての報告を踏まえ、超高齢・少子化・人口減少社会における主に住宅分野において取り組むべき課題と政策を考えます。

□ 日時 2013年11月27日（水） 15:30～18:00

- 講師 小林秀樹・千葉大学工学部教授
- 報告 伊藤久雄ほか・認定NPOまちぽっと理事
- 協力 市民がつくる政策調査会
- 参加費 500円
- 会場 TKPスター貸会議室（JR飯田橋駅東口から徒歩3分）
千代田区飯田橋3-4-3 エレガンス飯田橋2F



□ お申込み 参加ご希望の方は、下記連絡先までお申込みください。

【連絡先】 認定NPO まちぽっと TEL；03-5941-7948 FAX；03-3200-9250

メール；info@machi-pot.org